

学校名: 鳥栖市立若葉小学校

1 前年度 評価結果の概要
○ 校務改革の進捗状況
○ 完全不登校、不登校傾向合わせて7名の児童を不登校児童がいる。家庭的な問題や病気など原因は様々であり、特定はできない。組織的な対応を行い、外部機関とも連携を組んでいるがなかなか解決には至っていない。学校全体でそして組織的に取り組んでいきたい。早め早めの対応で解決を図りたい。
○ 特別支援学級が8クラス。来年度は10クラスになる。また、支援学級在籍以外でも、通級教室に通ったり、普通学級で特別な支援を要する児童もいる。なお一層の特別支援教育の充実が必要である。
○ 学年によって学力の状況が異なる。基礎学力の徹底、そして読書力の向上を目指し必要がある。来年度は新しい教育課程に入り、授業時間の確保、英語教育・プログラミング教育など新しい分野を視野に入れた学校運営が必要である。

2 学校教育目標
「美しい心をもち 自分で考え やりぬく子」の育成
～ 元気いっぱい 笑顔かがやく 若葉っ子 ～

3 本年度の重点目標
① 若葉授業（共通の指導・実践）と家庭学習習慣の定着による確かな学びの積み上げ
② 心の教育（道徳、人権・同和教育、UD教育、学級活動）による自己有用感の高まりと豊かな心の育成
③ 出番・役割の設定→承認・称賛と共通の指導による規範意識・判断力、主体的な態度の育成
データは
03学校共用 → A 令和2年度 → O 学校評価 → ★学校評価【入力してね】 → 中間評価
→ 05若葉小（様式1）令和2年度学校評価中間評価（鳥栖市版）

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
表: 評価項目、重点取組、成果指標、具体的取組、中間評価、達成度、最終評価、学校関係者評価

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
表: 評価項目、重点取組内容、成果指標、具体的取組、中間評価、達成度、最終評価、学校関係者評価

5 総合評価・次年度への展望
●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育
・来年度もいじめの早期発見、早期対応、再発防止に心がけ、児童が安心して過ごせる学校づくりを目指していく。また、積極的に児童の主体的な態度に対する承認・称賛を行い、学校・家庭・地域と連携して、児童の自己肯定感を高めていきたい。
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事等の中止や見直しを余儀なくされた。その中で有効な新たな方法なども見いだすことができた。来年度もできることを工夫しながら取り組んでいきたい。そのためにも、積極的にICT機器を使い、様々な場面で活用していきたい。
・児童1人1人台タブレット型端末が導入されたので、各教科の中でICTを活用した授業を推進していきたい。調べ学習だけでなく、プログラミング教育等も進め、児童の創造性を高めるような教育を目指していく。
・来年度も特別支援学級は10クラスで在籍児童は50人となる。通常学級にも配慮を要する児童が多いため、UD教育の視点を大切にした授業を実現していく。そのため、校内研究をはじめ外部講師による職員研修を計画し、研修を深める。
・来年度は田代中学校区の小中一貫教育の発表の年である。校内研究を充実させ、授業公開に臨みたい。